



平成23年10月25日

各 位

上場会社名 テクマトリックス株式会社
 代表者 代表取締役社長 由利 孝
 (コード番号 3762)
 問合せ先責任者 企画部長 森脇 喜生
 (TEL 03-5792-8601)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,800	250	250	110	1,821.25
今回修正予想(B)	7,500	460	490	210	3,476.94
増減額(B-A)	700	210	240	100	
増減率(%)	10.3	84.0	96.0	90.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	6,605	178	184	33	555.62

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,000	180	90	1,490.12
今回修正予想(B)	5,550	430	230	3,808.07
増減額(B-A)	550	250	140	
増減率(%)	11.0	138.9	155.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	4,850	140	61	1,021.83

修正の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響を受け、厳しい経営環境となることが懸念されました。しかし、震災後、各企業はBCP(事業継続計画)対策や、災害により発生するシステム障害を最小限に抑え、迅速にシステムを復旧させるための予防措置を施したために、インフラに関連するIT投資が増加しました。また、災害対策の一環として、クラウドに関連する需要が喚起される結果となりました。加えて、大手企業や政府機関に対するサイバー攻撃の発生の影響などもあり、セキュリティ関連製品の需要も増加しました。これらの影響により、売上高が当初の予想を上回る見通しです。また、売上高の増加に伴い、営業利益・経常利益・四半期純利益につきましても、当初の業績予想を大きく上回る見通しです。

セグメント別の状況は以下の通りです。

情報基盤事業では、主力の負荷分散装置がクラウド関連やデータセンター向けの需要増により持ち直しました。セキュリティ関連製品は順調でした。ネットワークインフラの保守・運用・監視などの請負業務は堅調に推移しました。

アプリケーション・サービス事業では、クラウド関連事業に弾みが付き、医療分野、CRM分野のクラウド・サービスは順調に業績を伸ばしました。また、CRM分野では大手のSIとの業務提携が売上に貢献しました。医療分野では、システム更新案件の増加により売上を伸ばしました。スマートフォン関連の開発需要の取り込みにも成功しました。

なお、通期の業績予想数値につきましては、為替や市況動向等不透明な要素が多いため、平成23年5月12日発表時の予想を据え置いております。

以上